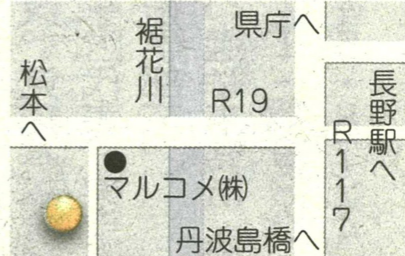


長野市民新聞

第2160号
7月3日(土)

長野市民新聞社
編集制作センター

〒380-0943
長野市安茂里1029-1
フリーダイヤル
0120-06-5511
TEL 223-5511
FAX 223-5500
shiminm@avis.ne.jp



©長野市民新聞社 2010

実証実験スタート



早速、自転車持ち込み

沿線8駅 パンプでPRも

インは長電初の試み。須坂発午前9時32分の2両編成の電車には4人が自転車と乗った。長電は、持ち込み可能な後部車両に補助要員を配置。車内放送で協力を呼び掛けたり、補助要員が転倒防止策としてゴムひもで自転車のハンドルを支柱に結び付けた。

自転車を持ち込み、綿内駅から東屋代まで

乗った男性は「一番に乗りうと楽しみにしていた。しっかり自転車を固定でき、ゆっくり座って乗れる」。信濃川田駅から乗車した男性は「ホームから乗せるときも不便さは感じない。気軽に遊びに行けそうだ」と喜んでいった。サイクルトレインは7月中の毎日午前9時25分須坂発、午後3時52分須坂着の間の電車

で実施。全駅から乗車できるが、屋代駅と須坂駅はホームまでに階段が多くある。視察に訪れた長電の笠原甲一社長は「サイクルトレインは乗車だけで利用できる。割引回数券などもあり大サービスをしている」と割安感をアピールしていた。

実証実験を含め本年度18事業を行う。増発や割引回数券発行、主要駅周辺への無料駐車場設置など主な事業を7月～9月に集中して行い、効果を調査。11月に決める行政支援を含めた新たな運行形態の協議材料にする。

乗客の減少などで経営が悪化している長野電鉄屋代線の増客を目指す実証実験が1日、始まった。沿線3市や長電などで行く「長野電鉄活性化協議会」が国の補助金を得て行う。初日は、登校や通勤時間に合わせて沿線地区の住民らが、増発や自転車の電車内持ち込みなど実証実験の内容を書いたパンフレットを主要8駅で配り、利用を呼び掛けた。



松代駅では松代地区住民自治協議会の役員ら7人が、中高生らにパンフレットなどを手渡ししてPR。屋代線存

続対策部会の中島鉄夫部長は「住民にもっと危機感を持ってほしい。今後、駅の整備活動などを通して支援する気持ちを呼び起したい」と話していた。自転車を持ち込める「サイクルトレ



自転車が持ち込めるサイクルトレインは好評

今年には日本の敗戦から65周年です。戦中・戦後の体験と次世代へのメッセージを伝える「戦争の記憶」を募集します。日米安保条約や基地移転の問題で注目された沖繩に関する戦時体験、記録、意見もお寄せください。原稿は400字詰